

第1回徳島県特別支援学校の教育環境に関する検討委員会の概要について

1 日 時 令和8年8月31日（月） 午前10時から午前10時50分まで

2 場 所 徳島県庁 9階 教育委員室（徳島市万代町1丁目1番地）

3 出席者

- （1） 委員10名（欠席者1名）
- （2） 県立学校校長及び教育委員会事務局担当課長 ほか

4 議 事

- （1）「徳島県特別支援学校の教育環境に関する検討会議 提言書」について
- （2）意見交換

5 各委員からの主な意見

- 在籍児童生徒数の増加により教育環境は限界の状態であることから、校区割や人数制限を設定することも必要ではないか。
- 高等学校における通級による指導は、多様な学びの場の設置やインクルーシブ教育の推進の観点から有意義であるが、指導者の専門性が必須である。専門性向上においては、特別支援学校との連携の方法も検討していく必要がある。
- インクルーシブ教育については、日常的な交流を進めつつ、特別支援学校の教員が地域の小・中学校の教育へ入っていく機会を増やすことで「学びの場の共有」ができるのではないか。
- 人材の確保や働き方改革については、専門性を有する退職教員等が意欲的に継続して働けるような雇用の枠組みや条件の充実が必要ではないか。

6 今後の予定

- 令和8年12月24日（木） 第2回検討委員会 中間まとめ
- 令和9年 2月頃 第3回検討委員会 最終まとめ

7 その他

- 本検討委員会では、2つの「ワーキンググループ」（作業部会）を設置
 - ① 特別支援学校に関するワーキンググループ
主な協議題 : 次世代を担う人材の確保と「教員の専門性」を支える体制構築
 - ② インクルーシブ教育に関するワーキンググループ
主な協議題 : 「交流」から「日常」への転換によるインクルーシブ教育の深化